

(3) その他の制度紹介

① 自由選択科目

1月からの3学期において必修科目に加えて短期集中型の選択科目が履修可能です。3学期の選択科目は留学科・英語基礎養成科を除く全ての学科の学生が履修します。原則的に1年次で必要単位（必要単位数は「各専攻学科の特色」を参照）を履修し、2年次では任意受講となります（英語専攻科、児童英語教育科は必修科目有）。

3学期では、実に多くの分野・種類の選択科目講座が開講されます。従って、自分の専門分野についてさらに力を伸ばしたい、または専門分野以外の勉強もしてみたい、将来就きたいと思っている職業に必要な知識・技能を身に付けたいなど、学生諸君がそれぞれの目的に合わせて勉強することができます。例えば、将来海外留学を計画している学生には TOEFL 対策講座、国内大学進学（3年次編入学等）を考えている学生に対しては小論文対策講座も行われます。さらに、2年次になって自分の専門とは異なった分野での就職が決まった場合、その就職先のニーズに合わせた準備をすることもできます。

このように3学期を利用すると、学生一人一人の目標やニーズに合った準備ができ、学院での2年間の学習成果をさらに高めることが出来ます。興味本位でなく、将来の計画を十分に考えて履修科目を選択してください。WIT 開講予定講座の主な分野は以下のとおりです。2015年度開講科目等の詳細は、後日配布される冬季集中学期講座履修登録案内で確認してください。

—3 学期自由選択科目開講講座ジャンル一覧表—

英語関連講座	話す／聞く／読む／書く技能を更にアップさせることを目的とした講座
検定・テスト対策講座	就職活動にプラスになる資格取得や TOEIC 得点アップ等を目的とした講座
諸外国語関連講座	アジアやヨーロッパの言語を学んでみたい人を対象とした講座
コンピュータ関連講座	ビジネス上必要な PC スキルの向上を目的とした講座
ビジネス実務関連講座	ビジネスの世界で役立つスキルや知識の習得を目的とした講座
趣味・教養関連講座	趣味の世界や教養を深めることに興味のある人を対象とした講座
専攻科関連講座	自分の専攻科に関連する科目を学びたい人を対象とした講座（専攻科学生のみ対象）
再履修関連講座	1・2 学期に単位を修得できなかった科目の再履修を行う講座（但し、自由選択科目の単位取得にはつながりません。また、再履修できる科目数には限度があります。）

— 2015 年度実施 3 学期(冬季集中学期)開講科目抜粋 (参考) —

英語関連講座	英語圏文化講座／発音クリニック／実践通訳講座／映画で学ぶ会話表現／英文法他
検定・テスト対策講座	TOEIC リーディング初級・中級・上級／TOEIC リスニング初級・上級／英検対策準 1 級・2 級／TOEFL 対策初級／日商簿記検定 2 級対策／Excel 検定 2・3 級講座／日本語ワープロ検定 1・2・3 級／MOS Excel・Word／INFINI 検定講座／SPI 対策講座／海外地理検定／旅行業務取扱管理者試験対策 他
諸外国語関連講座	フランス語入門・上級／スペイン語入門・上級／中国語入門・上級／韓国語入門／インドネシア語入門／ベトナム語入門／タイ語入門 他
コンピュータ関連講座	英語ビジネス文書／パブリッシャーでデザイン／パワーポイント 他
ビジネス実務関連講座	マーケティング・物流論／ホスピタリティビジネス入門／ビジネスイノベーション／ホテル業界入門／ウェディングをプランニングしよう 他
趣味・教養関連講座	英語でスイーツ作り／キリスト教入門／基礎から学ぶ児童英語教授法／ポップミュージックの歴史／英語で落語を楽しもう 他
専攻科関連講座	Intensive スピーキング(GC)／初等教科研究法(児童英語) 他

(注) 2015 年度に実施される科目は後日配布される自由選択科目履修登録ガイドブックで確認してください。

② 各種資格検定試験合格単位認定

申請時期	年2回（9月と2月）
認定条件	入学後に取得した資格（級）に対して単位を認定します。単位認定の対象となる検定試験及び認定単位数は123ページを参照のこと。

③ 資格取得奨学金

神田外語学院2年次に在学し、他の学生の模範となって学業に精勤して下記の資格を取得した学生には、申請により、奨学金が授与されます。（ただし、在学中に一人1資格のみとなります。）

※1年制課程は対象となりません。

対象資格	TOEIC990 点満点取得 TOEIC900 点以上取得 TOEIC800 点以上取得 実用英語技能検定試験1級、準1級、2次試験合格 スペイン語検定3級 中国語検定2級 フランス語検定2級 ハングル能力検定2級 通訳案内士
申請時期	2年次2学期末と3学期末の指定された期間内（後日掲示板等にて連絡）
授与条件	入学後に取得した資格(級)であること。申請時、卒業見込であり、申請年次に卒業できること。広報の取材(パンフレット掲載等)に協力できる者